3194	白倉弘邦(a)他11名	ミニトマト	アイコ

施肥　有機質･土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

＜土づくりの使用資材･肥料について＞

使用量はkg/10a

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績			
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg
海力No.1	海藻	長浜商店	1	0	0		0			元肥	225		1	0.0				
オキソパワー	過酸化カルシウム	タキイ種苗		0						追肥	60		1	0.0				
カルパワーソイル	カニ殻･カキ殻･米糠･鶏糞灰･やし殻活性炭･海藻ミール･黒糖	アイシード	1	0	2		2			元肥	225		1	0.0				

【慣行農法との比較】

*化学肥料

窒素分で比較して　当地比　5 割減

化学肥料	窒素使用量(kg/10a)
慣行使用量	39
計画使用量	15

*節減対象農薬

当地比　5 割減

節減対象農薬	計画回数	地域の慣行防除
土壌消毒剤		
除草剤		
殺虫剤		
殺菌剤		
その他薬剤		
合計	20	56

病虫害の防除　使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

使用量/10a

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数上限	
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
殺虫	アルバリン粒剤	ジノテフラン		コナジラミ類･ハモグリバエ類･アブラムシ類	5g/培土、1～2g/株	1～2g/株				5g/培土、1～2g/株	1g/株	9/11	1	1	1	5
生長調整	トマトトーン	4－CPA		着果促進･果実の肥大促進	低温時50倍･高温時100倍	1花房につき1回				100	1花房につき1回	9/20	1	1	1	1
殺虫	ベミデタッチ	グリセリン酢酸脂肪酸エステル		殺虫	500	100～300				500	100	9/8	1	1	－	－
殺虫	ムシラップ	ソルビタン脂肪酸エステル		殺虫	200～700	100				500	100	8/26,9/1,9/5,10/21	4	4	－	－
殺虫	アニキ乳剤	レピメクチン		コナジラミ類･オオタバコガ･ハスモンヨトウハモ	1000～2000	100				1000	100	10/21	1	1	3	3
殺虫	コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン		コナジラミ類	4000	100～300				4000	100	9/20	1	1	3	3
殺虫	ベストガード粒剤	ニテンピラム		コナジラミ類･アブラムシ類	5g/培土、1～2g/株										1	4
殺虫	アルバリン顆粒水溶剤	ジノテフラン		コナジラミ類･ハモグリバエ類･アブラムシ類	3000										2	5
殺虫	プリロッソ粒剤	シアントラニリプロール		コナジラミ類･ハモグリバエ類･アブラムシ類･アザミウマ類	2g/株										1	4
殺虫	アファーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩		ハモグリバエ類･オオタバコガ･ダニ	2000										5	5
殺虫	トランスフォームフロアブル	スルホキサフロル		アブラムシ類･コナジラミ類	1000～2000										2	2
殺虫	ベネビアOD	シアントラニリプロール		コナジラミ類･ハモグリバエ類･オオタバコガ･アブラムシ	2000										3	4
殺虫	コテツフロアブル	クロルフェナピル		ダニ･タバコガ	2000										3	3
殺虫	クリアザールフロアブル	スピロメシフェン		サビダニ･タバココナジラミ類	2000～4000										2	2
殺虫	ダニトロンフロアブル	フェンピロキシメート		サビダニ･タバココナジラミ類	1000～2000										3	3

3194	白倉弘邦(a)他11名	ミニトマト	アイコ

施肥　　有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画 使用量	計画 使用時期	計画 回数	計画 化成窒素kg	実績 使用量	実績 使用時期	実績 回数	実績 化成窒素kg

病虫害の防除　　使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）　　使用量/10a

分類	商品名	原料	メーカー(購入先)	使用目的	計画 希釈倍率	計画 使用量	計画 使用時期	計画 回数	計画 カウント	実績 希釈倍率	実績 使用量	実績 使用時期	実績 回数	実績 カウント	使用回数上限 商品	使用回数上限 成分
殺虫	プレバソンフロアブル5	クロラントラニリプロール		コナジラミ類・ダニ・ハモグリバエ類・オオタバコ	1000～2000										1	4
殺虫	マッチ乳剤	ルフェヌロン		コナジラミ類・ダニ・ハモグリバエ類・オオタバコ	2000～3000										2	2
殺虫	モスピラン水溶剤	アセタミプリド		コナジラミ類・アブラムシ類	2000										3	4
殺虫	モベントフロアブル	スピロテトラマト		コナジラミ類・アブラムシ類	2000										3	3
殺虫	グレーシア乳剤	フルキサメタミド		コナジラミ類・トマトハモグリバエ類・ハンモスヨト	2000										2	2
殺虫	ベリマークSC	シアントラニリプロール		アブラムシ類・コナジラミ類・ハモグリバエ	400倍25ml/1株										1	4
殺虫	ディアナSC	スピネトラム		アザミウマ類・コナジラミ類・ハモグリバエ・オオタバコガ・ハスモンヨトウ	2500～5000										2	2
殺菌	アフェットフロアブル	ペンチオピラド		灰色かび病・葉かび病・菌核・うどんこ病	2000										3	3
殺菌	カンタスドライフロアブル	ボスカリド		葉かび病	1000～1500										3	3
殺菌	セイビアーフロアブル20	フルジオキソニル		灰色かび病	1000～1500										3	3
殺菌	ザンプロDMフロアブル	アメトクトラジン・ジメトモルフ		疫病	1500										3	3,3
殺菌	シグナムWDG	ピラクロストロビン・ボスカリド		うどんこ病・すすかび病・灰色かび病・葉か	2000										2	2,3
殺菌	パンチョTF顆粒水和剤	シフルフェナミド・トリフルミゾール		うどんこ病	2000										2	2,5
殺菌	ファンタジスタ顆粒水和剤	ピリベンカルブ		すすかび病・灰色かび病・葉かび病・菌核病・斑点病	2000～3000										3	3
殺菌	フルピカフロアブル	メパニピリム		灰色かび病	2000～3000										4	4
殺菌	ホライズンドライフロアブル	シモキサニル・ファモキサドン		疫病・葉かび病	1500～2500										3	3,3
殺菌	ベルクートフロアブル	イミノクタジンアルベシル酸塩		うどんこ病・すすかび病・灰色かび病・葉か	4000										2	2
殺菌	ネクスターフロアブル	イソピラザム		うどん粉・葉カビ	1000										3	3
殺菌	レーパスフロアブル	マンジプロパミド		疫病	2000										3	3

備考:

計画で、化学肥料(窒素成分)は　15kg/10a以内
節減対象農薬は20回
5割減 5割減で表示します。

白倉弘邦さん、圃場4(10a)の実績です。
0kg、9回　2023/11/4　時点
※防除(農薬)の使用資材は防除計画表参照

	計画（作業、施肥、防除など）	実績（作業）
1月	芽かき、誘引、収穫	
2月	芽かき、誘引、収穫	
3月	収穫	
4月	収穫	
5月	収穫	
6月	収穫	
7月	収穫終了	
8月		
9月	元肥、ハウス、マルチ被覆、定植開始	ハウス、定植 9/2～
10月	灌水、誘引	灌水、誘引、定植 ～10/25、マルチ被覆 10/6～29
11月	灌水、誘引、水芽かき、収穫開始	
12月	誘引、芽かき、着果処理、収穫	

定植開始:	令和5年9月2日
終了:	令和5年10月25日
収穫開始:	令和5年11月上旬
終了:	令和6年7月上旬